

令和5年度 愛教研の表記について

愛教研「教育情報」編集委員会

- 編集小委員会等でよく使われると予想される言葉（語句）について、表記を統一する。
- 確認事項
 - 1 原則として常用漢字を用いること。
 - 2 漢字や送り仮名の使用については、例解辞典を参照する。
 - 3 原則として縦書きの数字は漢数字を用いること。
 - 4 以下の表記は、**ゴシック体**のように統一する。

あいさつ	挨拶、（あいさつ）	友だち	友達
あきらめる	諦める	友達どうし	友達同士
あり方	在り方	ともに～する	共に～する
いい方法	よい方法 ※	～と共に	～とともに（動詞に付く場合）
いす	椅子	〇さんとともに	〇さんと共に（名詞に付く場合）
受け持ち	受持ち	とらえる	捉える
打ち合わせ	打合せ	取り組み	取組（名詞）
嬉しい	うれしい	～に取り組む	～に取り組む（動詞）
おう盛	旺盛	仲よく	仲良く
おれ	俺	配ぜん	配膳
かかわる	関わる（～にもかかわらず）	配布	（広く行き渡るように配る）
かつ藤	葛藤	配付	（特定の人に対して配る）
気づく	気付く	はぐくむ	育む
鍵盤ばん	鍵盤	話し合い	話合い
心がける	心掛ける	はる	貼る
こたえる	応える	日ごろ	日頃
ご指導 ご支援	御指導 御支援	人に出合う	人に出会う
言葉づかい	言葉遣い	ひとり ひとり	一人一人
子供	子ども ※	ひより	日和
子供達	子どもたち ※	ふたり 2人	二人
さまざま	様々	普段	ふだん（～のままのかっこう）
さらに	更に（副詞）	まじめ	真面目
さらに	さらに（接続語）	まわりのもの	周りのもの
しかた	仕方	身につける	身に付ける
しかる	叱る	身のまわり	身の回り
集団作り	集団づくり ※	もっとも	最も
充分 じゅうぶん	十分	ようす	様子
すべて	全て	わかる	分かる
素晴らしい	すばらしい	わたし	私
整とん	整頓	～して行くこと	～していくこと
そう言う	そういう	～して下さい	～してください
その上に	そのうえに	～して見る	～してみる
体力作り	体力づくり ※	～する中で	～するなかで
第1日目	第1日	～のもと	～の下
たびたび この度	度々 このたび	つうじて	通じて
だれ	誰	～の通り	～のとおり
綴る	つづる	～をとおして	～を通して
繋がる	つながる	もつ	持つ〈物、権利、役割、才能〉

※ … 漢字を使うことができるが、教育用語としてこのまま使用した方がよいと考えられる言葉、また、人権・同和教育上、平仮名表記の方が好ましいと考えられる言葉。
「挨拶」「御〇〇（〇は漢字）」は、令和3年度より漢字に変更。… 要留意の表記。

【縦書きにおける漢数字の表記】

推奨する漢数字の表記	望ましくない表記
原則とする漢数字表記	
三百五十二個	三五二個
平成二十九年	平成二九年
七十名	七〇名
十二月二十一日	十二月二日
百八十六名	一八六名
西暦の表記	
二〇一七年	2017年
単位の表記	
八十五パーセント	八五パーセント
八十五%	八五%
百二十五万キロメートル	一二五万キロメートル
百二十五万km	百二十五万km

※記号を使う場合は、一つの原稿の中で統一しておく。

- 固有名詞の表記については、執筆者の思いが強い場合や名詞に準ずる数字等、柔軟に考える。



愛媛の教育第二百十号
国道一〇号
県道三〇二号
四二・一九五キロメートル

【固有名詞表記例】

【アルファベット表記例】

解を助ける説明をしていただき、授業をスムーズに進行することができた。メインの活動では、「How many?」を使ってペアでやり取りをし、プレゼンする相手を考えながらフルーツ盛り

【縦書きにおけるアルファベットの表記】

- ① 日常的に外来語として使用しているものは、原則として縦に並べる。

C D	M V P	A L T	J I C A	I C T	N G O	愛 媛 F C	J ・ P O P	G I G A
--------	-------------	-------------	------------------	-------------	-------------	------------------	-----------------------	------------------

- ② 文や単語などは、横にする。



- ※ 本表記については、「あくまでも原則」という考えで対応する。一つの文章内において、前後の記述等により判断し、執筆者の意向（考えがあつてその表記をする場合）を重視する。
- ※ 今年度も、その他、統一すればよい言葉については、愛教研「教育情報」編集委員会を中心にその都度検討を重ねていく。